

令和7年6月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年6月12日（木）午後2時30分～午後3時45分
2. 場 所 岸和田市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 野口 和江
委 員 和田 郁美
4. 事務局出席者
教育総務部長 山田 潤／学校教育部長 長岡 英晃／生涯学習部長 池内 正彰
総務課長 柿花 真紀子／学校適正配置推進課長 西河 鉄二／学校給食課長 寺埜 朗
学校管理課長 倉橋 良弥／産業高校学務課長 橋本 純／学校教育課長 石井 良和
人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 長谷川 真紀
スポーツ振興課長 仲村 英二／郷土文化課長 井上 慎二／図書館長 宇野 義文
総務課参事 二宮 明生

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に植原教育長職務代理者を指名した。
傍聴人0名。

○大下教育長

ただいまから、6月定例教育委員会会議を開催します。

報告第31号 学校給食費の無償化について

○大下教育長

報告第31号について、説明をお願いします。

○寺埜学校給食課長

報告第31号につきましては、学校給食費の無償化についてです。

歳入予算の補正を第2回の定例市議会に企画課から提案することから、学校給食課としての議案ではございませんので、報告という形にさせていただきます。

内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市立小中学校の児童生徒の給食費を無償化するものです。期間については、令和7年8月から令和8年3月までです。事業効果は、学校給食費を無償化することで、子育て家庭の経済的な負担軽減などを積極的に行い、子育て世代の定住促進を図るものです。対象者は、市立小中学校児童生徒の保護者と天神山幼稚園で小学校給食を喫食する園児の保護者となります。補正内容は、歳入予算3億1,109万8千円減額となります。本来、保護者から頂戴する学校給食費負担金を減額し、その減額分を、

重点支援地方交付金（略称）248,712千円とふるさと応援基金62,386千円を使い充当するものです。無償化に伴い、すでに制定している「岸和田市学校給食費等の管理に関する規則」について、別に規則の特例を制定する必要がありますので、関係課と協議し、その手続きを行ってまいります。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

家庭にとってはありがたい事業です。この臨時交付金は今年からついたものでしょうか。

○寺埜学校給食課長

ここ数年ですが、コロナウイルス対策以降、このような形で臨時交付金がついています。

○和田委員

これまでどのように使われていたのでしょうか。また、資料では無償化は令和8年3月までとなっていますが、それ以降、無償化は継続される予定なののでしょうか。

○寺埜学校給食課長

これまでの給食の無償化にもこのような臨時交付金を活用したり、水道代の基本料金の無償化等、他の課においても活用されています。来年度以降について、国の方では、小学生を対象とした無償化の話があがっておりますが、市町村には、具体的な連絡や通知というのは届いていないので、その状況も見ながらの対応になると思います。中学生の給食は国の考えではまだ無償化にはならないので、その点については関係課と協議のうえ進めていきたいと思います。

○植原教育長職務代理者

主となる課はどこですか。予算としては、臨時交付金またはふるさと応援基金を使う予定でしょうか。

○寺埜学校給食課長

臨時交付金は企画課が国の窓口となり市内のとりまとめをしてくれています。今回の臨時交付金を充当するのは令和8年の3月までです。見通しとしまして、予算総額の3億1,100万円のうち優先的に臨時交付金を充当し、不足額をふるさと応援基金で補うイメージです。

○野口委員

財源となるふるさと応援基金とはどのような財源なのでしょうか。

○寺埜学校給食課長

ふるさと納税で岸和田市が基金として積立ててきた財源で、それを使用するものです。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第32号 市民公開講座「ものづくり講座」の実施について

○大下教育長

報告第32号について、説明をお願いします。

○橋本産業高校学務課長

報告第32号につきましては、市民公開講座「ものづくり講座」の実施についてです。産業高校が持つ、物的・人的資産を広く地域に開放することで、産業高校の魅力をアピール

するとともに、生涯学習・教育の向上にも寄与することを目的に、市内の小学生とその保護者を対象に「ものづくり体験講座」を実施します。

対象は市内の小学4年生から6年生とその保護者です。日時は、8月2日（土）午前10時から12時、場所は産業高校です。内容は「スクリーン印刷を活用したトートバッグ制作」ということで、昨年度にDXハイスクールの補助金を活用して整備いたしましたデジタルシルクスクリーン製版機を活用し、子どもたちが描いた絵やデザインしたものを印刷したトートバッグをつくることを予定しております。

定員は親子10組で費用は1,000円、講師はデザインシステム科の教員が担当します。また、生徒にも手伝ってもらおう予定です。

周知につきましては、広報きしわだ7月号とホームページに掲載予定です。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

過去の応募状況はどうですか。

○橋本産業高校学務課長

例年10組の募集枠に、昨年度は10組の応募があり、令和5年度、令和4年度は5組でした。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第33号 令和6年度 岸和田市立中学校卒業生の進路状況について

○大下教育長

報告第33号について、説明をお願いします。

○松本人権教育課長

報告第33号につきましては、令和6年度 岸和田市立中学校卒業生の進路状況についてです。

昨年度の中学校卒業生の進路状況の報告です。概要としまして、高等学校等に進学した者1,523名、進学と就職を兼ねる者0名、就職した者3名、専修学校等に進学した者22名、その他12名、合計1,560名となっております。詳細は別紙のとおりです。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

令和5年度と令和6年度での違いはありますか。

○松本人権教育課長

令和6年度では専修学校に進学した比率が高くなっています。

○野口委員

人数は大きくないのですが、家事手伝い・療養中、進路未定というのは、令和5年度では各3名と4名、令和6年度が各5名とやや上昇傾向です。学校も忙しくて大変だと思いますが、令和5年度の3名、4名についてのその後の追跡はされているのでしょうか。

○松本人権教育課長

その後の追跡は難しい状況ですが、進路未定の卒業生に対しては、卒業後も中学校から声か

けをすると聞いております。

○野口委員

不登校だった生徒が、そのまま家に居続けているケースもあるということでしょうか。

○松本人権教育課長

令和6年度の家事手伝い・療養中の5名や、進路未定の5名に関しましては、小学校から不登校傾向や、中学校でも休みがちで、進路については、学校も指導・支援していたところですが、進学には結びついてない状況になっています。

○野口委員

義務教育が終わった段階で、関わっていくことが難しくなっていきますが、どこかにつなぐ方法や場所はあるものでしょうか。

○松本人権教育課長

要保護児童対策地域協議会等、家庭支援を含めた福祉関係につながっている場合は、継続して福祉の方からの対応や家庭の支援、家庭訪問等を通じて声かけしていただいているケースもあります。

○和田委員

進路未定が増えてきているのはとても気になるのですが、その他の区分のなかのその他に分類されている2名の状況はわかりますか。

○松本人権教育課長

一人は家庭事情によるもので、もう一人はサッカーで海外留学された方です。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第34号 令和6年度 岸和田市立中学校支援学級在籍生徒の進路状況について

○大下教育長

報告第34号について、説明をお願いします。

○松本人権教育課長

報告第34号につきましては、令和6年度 岸和田市立中学校支援学級在籍生徒の進路状況についてです。令和6年度に支援学級に在籍した中学校3年生の生徒112名の進路状況を記載しております。

別紙をご覧ください。上から内訳としましては、全日制課程が57名、定時制課程が1名、通信制課程が25名、支援学校が17名、専修学校が6名、その他が4名となっております。

なお、支援学校の内訳としましては、佐野支援学校、だいせん聴覚支援学校、すながわ高等支援学校・岸和田支援学校となっております。全日制の課程に分類される、貝塚高等学校の自立支援コースに進学しております。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

資料から令和6年度の特徴はいかがでしょうか。

○松本人権教育課長

比率としましては、支援学校に進学した生徒が、令和5年度に比べて少し増えている状況で

す。また、昨年度に比べまして就職した生徒の比率も増えております。その他についても、昨年度は0でしたが令和6年度は4人います。

○野口委員

中学校で支援学級に在籍されていた生徒は、特別の教育課程で義務教育を受けてこられたと思いますが、全日制の高等学校へ進学された場合、その学校で教育課程上、配慮されることはあるのでしょうか。

○松本人権教育課長

通信制高校では、ホームワークができることから支援学級在籍の生徒が進学する状況が増えています。全日制の方では私立高校で、グループ学習をするコースもあるので、無償化も相まって、私学に進学されている生徒もいます。

○野口委員

インクルーシブ教育が進んでいく社会ですので、進学されても、それぞれに応じた教育を受けることができることはいいことだと思いました。

○植原教育長職務代理人

報告第33号の人数には報告第34号の人数も含まれていますか。

○松本人権教育課長

含まれています。

○植原教育長職務代理人

報告第33号と第34の別紙資料から家事手伝い・療養中の5名のうち、4名が支援学級在籍の生徒になりますが、この4名は不登校傾向の生徒だったのででしょうか。また、報告第33号別紙資料の進路未定の5名の状況はどうだったのででしょうか。

○松本人権教育課長

支援学級在籍の4名は不登校傾向があったと聞いております。進路未定の5名のうち3名はやや不登校傾向の生徒でした。1名はスポーツで他府県に行かれました。もう1名は不登校傾向ではありませんでしたが、家庭の事情で進路未定だと聞いております。

○植原教育長職務代理人

全体1,560名のほとんどが進路を見つけれられていることは、進路指導の成果が上がっていることだと思います。不登校の生徒に関して、1桁の人数なのですが、卒業後の把握ができればいいのですが、学校として卒業した生徒に対して連絡することは難しいところがあります。学校に通われていれば、先生同士で情報共有することも可能ですが、ご家庭の事情に入り込む場合は、人権の問題もあるので難しさを感じます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第35号 第47回岸和田フレンドシップコンサートの開催について

○大下教育長

報告第35号について、説明をお願いします。

○長谷川生涯学習課長

報告第35号につきましては、第47回岸和田フレンドシップコンサートの開催についてです。

フレンドシップコンサートは、市内の学校に通う生徒などによる、吹奏楽、合唱のグループが力を合わせまして、演奏や合唱を行うことで、協調性や連帯感を持って、将来にわたって、音楽に接するすばらしさを体験していただくことと併せて、広く市民に公開しまして、青少年文化の振興と啓発に資することを目的として、毎年開催しているものです。

今年度の日程は、令和7年6月15日（日）です。南海浪切ホール大ホールにて開催いたします。出演団体は記載の通りで、合唱で6団体、吹奏楽で6団体を予定しております。昨年度に比べますと、吹奏楽で2団体、出演が少なくなっておりますが、合唱では、各団体の合唱に加えて、岸城中学校、北中学校、野村中学校、土生中学校の4中学校合同で合唱するプログラムなどを予定しております。最後には、フィナーレといたしまして、合唱、吹奏楽の全員で、演奏するプログラムも計画しております。12時開場、12時半開演です。今週末ということで、開催の日が近づいておりますが、お時間をごございましたら、どうぞご来場いただければと思います。

少しでも多くの皆様を客席にお迎えすることが、出演者の励みになると考えておりますので、よろしく願いいたします。イベント情報は、広報きしわだ6月号、市ホームページの掲載、ポスターやチラシなどで周知させていただいております。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

当日の運営は岸和田市音楽団の方が中心になりされておられますが、生涯学習課では参加団体の拡充にむけた取組は何かされていますか。

○長谷川生涯学習課長

昨年度の参加団体数は14団体で、今年度が12団体です。学校行事との重複により、年度により参加団体数に増減があります。また、すべての中学校や高等学校に参加の呼びかけを例年行っており、その中で、学校行事との調整を図り出演していただいているところです。

○野口委員

中学校の部活動の運営が難しくなるなかで、以前、連合音楽会で中学校を見せていただいたときに、2名で活動されている合唱部もありました。こういったコンサートが盛大になっていくには、学校における音楽の活動が盛んになっていくことが必要だと思うのですが、音楽に関して外部指導員が入っている学校はあるのでしょうか。

○石井学校教育課長

部活動指導員ということで、専門的な技術やスキルをお持ちの元教員といった人材に入っているクラブもあります。例えば桜台中学校にはブラスバンド部の指導のための指導員を配置しております。

○野口委員

合唱とかブラスバンドの場合、多くの人数が必要だと思います。特にコンサートで演奏される場合は多くの部員による構成が必要だと思いますが、複数の学校で合同による練習の機会を持ったり、合同でブラスバンド部を編成したりといった取組はされているのでしょうか。

○石井学校教育課長

合唱や吹奏楽において、今のところ合同で活動しているところはありません。

○仲村スポーツ振興課長

部活動の地域移行の実証事業ということで令和5年度から3年目を迎えており、徐々に移行を目指しているところです。運動部では今年度に合同での実証事業の計画をしていますが、合唱部等の文化系の部活動では今のところ合同で実施する計画はありません。

○植原教育長職務代理者

以前よりフレンドシップコンサートのことは存じ上げています。参加団体が減った時期もありました。それは各学校のスケジュール調整が難しく、とくに定期テストと重複したり、学校関係者は苦勞されておられました。そのようななか、現在も12団体、昨年度は14団体の参加があり、参加団体が大きく減ることなく継続されていることに関係者の皆様に感謝いたします。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第36号 岸和田城天守閣の展示について

○大下教育長

報告第36号について、説明をお願いします。

○井上郷土文化課長

報告第36号につきましては、岸和田城天守閣の展示についてです。

6月25日(水)から10月22日(水)まで、企画展「近代岡部家の歩み」を開催します。

開催の趣旨としましては、社会の制度や経済基盤、世界的情勢など、大きな変化が一気に押し寄せた明治から昭和にかけて、多方面で力を発揮した長職・長景・長衡三代の姿を紹介することで、近代岡部家の歴史を新たな視点でみていただきたいと考えています。

主な展示資料は、長職の名前が記載されている名簿で、「公侯伯子男華族明覧全」、長景が戦後A級戦犯容疑で拘留された巣鴨プリズンから家族に送った手紙である「岡部長景書簡」、長衡が出場した昭和39年の東京オリンピックのユニフォームなど、約35点を展示します。

周知方法は広報きしわだ7月号、ホームページやポスター等によって行っています。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

江戸時代までは藩主でいらっしゃったので、市内にある泉光寺には代々の墓があったり、岸和田との繋がりというものは、近いものを感じるのですが、近代に入ってからこの岡部家と岸和田との関係性を示すような展示はあるのでしょうか。

○井上郷土文化課長

展示のなかでは、昭和37年の福本太郎書簡といった資料があり、当時の岸和田市との関係を示す資料がございます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第37号 新図書館(本館)整備に向けた構想検討【報告書】について

○大下教育長

報告第37号について、説明をお願いします。

○宇野図書館長

報告第 37 号につきましては、新図書館（本館）整備に向けた構想検討【報告書】についてです。新図書館（本館）整備については、令和 5 年 2 月、市制施行 100 周年を新図書館（本館）整備のキックオフの年と位置づけ、「記念シンポジウム」の開催や、「岸和田市図書館のありかた」を策定いたしました。

令和 5 年度は、政策決定会議の専門委員会として、「新図書館（本館）整備庁内検討委員会」を設置し、「複合施設の検討」・「立地可能場所」を中心に調査、研究を行い報告書にまとめました。

令和 6 年度は、令和 5 年度の報告書を更に深堀し、複合化の可能性や効果、活用可能な財源の調査を行い、報告書にまとめましたので、概要を説明させていただきます。

お手元に配布しております「新図書館（本館）整備に向けた構想検討【報告書】」の表紙をめくっていただき、左側が目次となっております、「Ⅰ. はじめに」「Ⅱ. 立地可能場所の検討」「Ⅲ. 市民意見の把握」「Ⅳ. 今後に向けて」の 4 つの構成となっております。

右側 1 ページには「Ⅰ. はじめに」ということで、「この報告書の概要」、2 ページから 8 ページまでは「近年の図書館のあり方」、9 ページから 14 ページまでは「近年の図書館のあり方を踏まえた図書館整備・運営の検討」ということで、運営の方法等を他市の事例を含めまとめました。

次に、15 ページから 35 ページにかけ、「Ⅱ. 立地可能場所の検討」ということで、4 つの立地可能場所を、候補地として検証させていただきました。

なお、昨年度における立地可能場所は「現在地」「福祉総合センター隣接地」「南海浪切ホール」「まなび中央公園」の 4 つでしたが、「福祉総合センター隣接地」においては、市役所新庁舎の建設計画（案）が進められており、庁舎との複合化の可能性については、「新庁舎との事業スケジュールが合わないこと」、また、「調整による新庁舎建築着手の延伸や敷地及び周辺交通量の増加の問題」、「合築による事業費の増加」など、新庁舎の早期建設及び事業費抑制の観点から、検討対象から除くこととし、「市役所本庁舎跡地」を新たな立地可能場所として加え調査・検討を行いました。

また、各候補地における市場ニーズなど、民間事業者へのヒアリングの調査結果を 17・18 ページにまとめ、複合化候補施設について、庁内各関係課へのヒアリングの調査結果を 20・21 ページにまとめています。

さらに、22 ページから「事業手法及び活用可能な財源の検討」ということで、26 ページまでは事業手法を、27・28 ページには活用可能な財源を、他市の事例を含めまとめています。

29 ページから 34 ページまでは、「立地可能場所の評価」ということで、4 つの立地可能場所の概要をまとめ、35 ページには、15 ページから 34 ページまでの評価を、4 つの立地可能場所ごとに表にまとめました。

次に 36 ページからは「Ⅲ. 市民意見の把握」ということで、39 ページまで、「利用者アンケート調査」、「市民意識調査」、「館外イベントでの市民の声」を調査結果としてまとめております。

最後に「Ⅳ. 今後に向けて」では 40 ページに「検討スケジュール」として、立地可能場所と関係する庁内各関係課のスケジュールを掲載し、41 ページには、「今後の検討課題」を掲

載しております。

現在のところ、建設場所や建設時期等決まっていますが、今後、当報告書を基に、「新図書館（本館）整備庁内検討委員会」等において、建設への具現化に向けた協議を行っていきたいと考えております。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

報告書を読ませていただき、市民の意見に共感しつつ、多方面から考えることがたくさんあることもわかりました。図書館においては、静粛性とか勉強ができるスペースを確保して欲しいですし、新しい時代の複合施設でもあって欲しいと思いますので、どのように融合させていくのかを期待しています。報告書の 35 ページでは、まなび中央公園において一番メリットが多く、有力候補地なのかと思ったのですが、ローズバスはまなび中央公園まで行くのでしょうか。また、都市中核地域は具体的にどの辺りになるのでしょうか。

○宇野図書館長

ローズバスにつきましては、体育館の近くにバス停があったと思います。岸和田市を6つの圏域で考えた場合、まなび中央公園がある西之内町は都市中核地域に含まれておりますので、まなび中央公園の中に移転することになれば、都市中核地域の中に図書館が整備されるということになります。

○池内生涯学習部長

ローズバスの運行は、南ルートと北ルートがあり、北ルートの方ですと、中央公園の山手側に小松里町北（総合体育館）というバス停があり、最寄りのバス停となります。

○野口委員

折りにふれて、様々な図書館を見学させていただく機会がありました。それぞれにメリットデメリットがあって、岸和田で考えるとしても、やはりそれぞれの場所にメリットデメリットがあるだろうし、市民として、どのようなコンセプトの図書館を考えていくことがいいのかというところが非常に難しく、報告書を見せていただいても、いろいろな意見があるのだと感じています。今後はこの報告書をもとに、具体的な場所であるとか、内容であるとか、具体的な計画段階にもう入っていくととらえてよろしいのでしょうか。

○宇野図書館長

図書館も現在築 50 年で、耐用年数自体も 65 年ということで、時間も限られています。庁内の公共施設の在り方の動きもありますので、図書館でも複合化を考えております。利用者への相乗効果を期待し、利用者が増えるような形を考えておりますので、どの場所が一番相乗効果として高く、どのようなところと複合化できるのかといったことの調査も行いながら、新図書館整備を進めたいと考えております。

○大下教育長

コンクリートの耐用年数自体は 65 年なのですが、現図書館はエレベーターがないことから障がいのある方が利用しにくい点や、スペース的に非常に限られていて、蔵書を十分に配架できない点、また、他の図書館でよく見受けられる子ども達が自学自習できる十分なスペースが確保できていないことがあります。そういったことから、コンクリートの耐用年数の問題もあ

るのですが、速やかな整備が急がれるという考え方です。ただ、相乗効果を発揮するうえでは複合化が望ましく、国の補助金等を活用する意味でも、複合化の方が有利な場合がありますので、関係部局と一体的に検討していく必要があります。今年度の予定として図書館の動きはどのような状況でしょうか。

○宇野図書館長

令和7年度につきましては、新図書館本館整備庁内検討委員会の開催を予定しており、立地可能場所についての検討を進め、並行して、サービス面や機能面、ソフト面についても調査分析を行っていきたいと考えております。

○大下教育長

紙媒体だけではなく、電子媒体、DXの動きがありますのでそういうことも加味しながら、具体的な施設の検討を進める必要があります。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。では、議案の審議に移ります。

議案第26号 令和8年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針について

○大下教育長

議案第26号について、説明をお願いします。

○橋本産業高校学務課長

議案第26号につきましては、令和8年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針についてです。令和8年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針が定められたことに伴い、本市においても、令和8年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針を定めるものです。内容につきましては、1の全般的な事項は昨年度と同様とし、2の各入学者選抜の具体的事項は、入試日程を大阪府立の高校に合わせたものとしております。

日程につきましては、別紙の2ページをお願いします。特別入学者選抜のデザインシステム科は、出願が2月16日から17日、学力検査が2月19日、実技検査が2月20日、合格者発表が3月2日となっています。3ページをお願いします。一般入学者選抜の商業科と情報科は、出願が3月4日から6日、学力検査が3月11日、合格者発表が3月19日となっています。定時制についても同じ日程です。

4ページをお願いします。定員割れが生じたときの二次入学者選抜は、出願が3月24日、面接が25日、合格者発表は3月26日としております。

なお、先月のこの会議で学力検査と配点比率の選択について決定いただいているところで7月の公表を予定しておりますが、本議案で入試日程を確定させていただくこととなります。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

例年のとおり大阪府立高校のスケジュールに合わせております。

他にご意見はないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第27号 補正予算について（事業費補正）

○大下教育長

議案第 27 号について、説明をお願いします。

○仲村スポーツ振興課長

議案第 27 号につきましては、補正予算について（事業費補正）です。

本件につきましては、令和 7 年第 2 回定例市議会に歳出の補正予算を審議いただくものでございます。

本市の社会体育施設につきましては、令和 3 年 3 月に策定しました『岸和田市立社会体育施設再編基本方針』において、再編対象施設、集約方法及び実施時期等を示した個別計画を策定することとしており、検討を進めているところです。

そのような中、今回の補正予算を提案いたします。

1. 趣旨ですが、牛ノ口公園運動広場は、他の運動施設に比べ利用者数が多く、施設改善への市民ニーズが高い施設ですが、昭和 41 年の供用開始以来、修繕・整備等の十分な対応ができていません。そのため、グラウンド状態は非常に劣悪で、雨天後の利用が 2、3 日間制限されることや、野球で打球のバウンドが変わり、怪我の発生の恐れがあるなど、機能性や安全性から課題が多く、早期の施設改善が必要不可欠な状態となっています。

また、緊急避難場所に指定されていますが、現状ではトイレ等の施設整備も不十分な状態です。

さらに、市長公約の一つである『日本一スポーツのまち岸和田』の実現に向けて、スポーツ施設の整備とスポーツ振興を進めていく必要があり、牛ノ口公園運動広場における利用者の安心安全を早期に確保するため、並行して社会体育施設再編の取組を進めつつ、施設全体の改善を図ることとします。

2. 事業費補正の内容ですが、改修設計・測量業務委託費として、37,675 千円を補正するものでございます。

3. 提案内容は御覧のとおりで、内野部分の不陸整正や、外野部分等の人工芝化、排水設備の修繕等でございます。

今後のスケジュールですが、市議会での議決後、今年度は設計業務を実施し、来年度 6 月～12 月を目途に工事を行い、今年度中の供用開始を目指すこととしています。

本整備の考え方及び歳出予算補正見積書(案)につきましては、それぞれ別紙のとおりです。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

内野部分やグラウンド全体の排水設備、外野フェンスの改修、トイレやスタンドの改修、これらの整備を行うと、令和 7 年度から工事に入る令和 8 年度にかけて、利用者の活動はどうなるのでしょうか。生涯スポーツという視点から考えて、1 年程かかる工事ならば、利用者への配慮をどのようにしていくかという計画があれば教えていただきたいと思えます。

○仲村スポーツ振興課長

令和 7 年度につきましては、設計測量業務ですので、利用者の方々に特に使用に関して影響があるといった状況ではないのですが、令和 8 年度の工事期間に入りますと、やはり使えない時期も出て参りますので、その工事時期につきましてもなるべく市民大会や行事等がない時期

を選んで、できる限り速やかに、対応させていただくことと考えています。

○植原教育長職務代理者

工事期間中は市民にはどこか別の場所を紹介するとか、或いは学校においてもスポーツ大会等で牛ログラウンドを結構使うことが多いと思います。その辺を1回洗い出して、できる範囲内の案内や対応を考えてもらえたら、市民の方にとっては、グラウンドが綺麗になるうえ、活動場所も考えてもらえると有難いと思ってもらえると思います。

○大下教育長

この整備については、事前に利用者団体に、人工芝化されることについて意見を聞いていただいていると思います。その結果と、一定利用が制限されることについて利用者にご理解いただいているのかどうかお聞かせください。

○仲村スポーツ振興課長

人工芝化につきましては、今の土の状態からグラウンドの形状が変わることになりますので、事前によく利用されている野球チームや朝陽校区で活動が盛んなグラウンドゴルフやサッカーチーム等の連盟や団体に、ヒアリングをさせていただきました。人工芝化することについては、特に今の使用状況に対して支障になることでもありませんので、綺麗に整備してくれたほうがいいという好意的なご意見をいただいています。ただ工事期間に使えない時期が出てくる可能性があるということについては、まだお話ができてない状況ですので、今後、調整をしていきたいと考えています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもって本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時45分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員